

<フロア構成> 特徴的な施設の紹介

<p>1階</p>	<p>メーカーズルーム他</p>	<p>北側エントランス近くは「メーカーズルーム（工作室）」を中心としたものづくりの拠点。パソコン、3Dプリンタや各種工作機械などが設置され、工学部だけでなく他学部の学生も利用します。</p>	 <p><メーカーズルーム></p>
<p>2階</p>	<p>ロボットラボ／ クリエイティブラボ</p>	<p>南側エントランス付近にあるガラス張りの「ロボットラボ」は、カフェにも隣接しており、誰もがAI研究の最前線に触れることができます。このフロアには「実験室」と「クリエイティブラボ」を設置。オープンスペースは、多様な分野のものづくりが融合する場となるでしょう。</p>	 <p><オープンスペースの一例></p>
<p>3階</p>	<p>実験室／ プロジェクトスタジオ</p>	<p>PCを備えた「プロジェクトスタジオ」や「デザインラボ」などの実験室が入るフロアです。すべての学部の学生が集う異分野融合を促進するスペースも設けます。</p>	 <p><プロジェクトスタジオの一例></p>
<p>4階</p>	<p>研究室</p>	<p>工学部の教員研究室が設けられています。中央部の吹き抜けを囲んだオープンスペースは、多くの人が行き交い、分野を超えたコラボレーションを生み出します。</p>	
<p>5階</p>	<p>実験室／教室</p>	<p>学生や教職員同士の交流によって異分野融合のイノベーションを実現するため、「プロジェクトスタジオ」と「実験室」を混在させたフロア。通路部分は自由に使えるオープンスペースになっています。</p>	 <p><オープンスペースの一例></p>
<p>6階</p>	<p>食堂</p>	<p>玉川の丘、さらには都心や横浜方面を一望できる学生食堂。開放的な景色は学生たちの発想力を広げます。座席は347席を用意。 (一般開放はしていません)</p>	 <p><食堂イメージ図></p>

<分野を超えたさまざまな人が集まる仕掛けの一例>

建物内部での展開



今までの仕切られた教室の概念にとらわれない多様なオープンスペースがアクティブ・ラーニングを促進します。

STREAM Hall 2019 のエントランスに広がるコラボレーションテラス (建物右側)

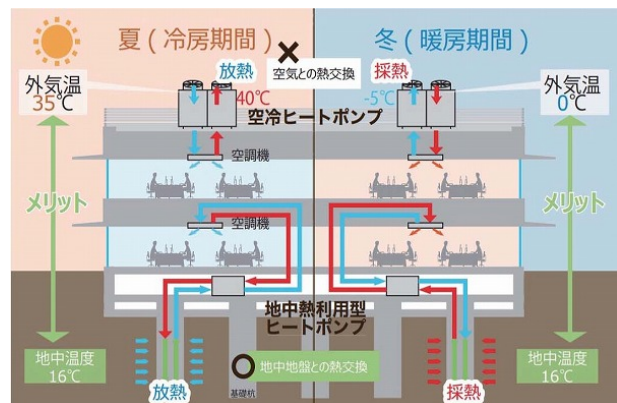
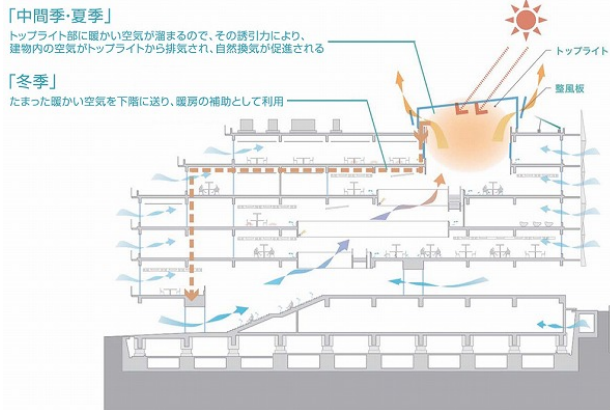


この広場には、創立者小原國芳が理工系の学生に対し贈った書「慧眼見真」「神なき知育は知恵ある悪魔をつくることなり」の碑を設置予定。

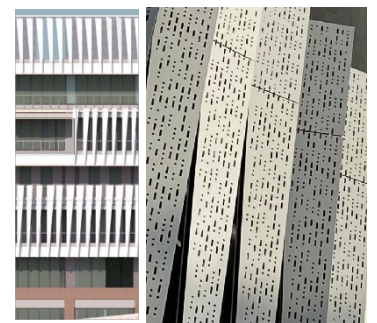


<SDGs を意識した校舎環境整備>

トップライトと地中熱を利用した省エネ設計で、年間を通じて効果的な空調を実現しました。



建物を覆う金属製ルーバーは日射と自然通風のコントロールという役割を担っています。そのため、各ルーバーはコンピュータシミュレーションによって、最適な角度が決められています。また、ルーバーには風を通す穴がいくつもあけられており、全人教育の6つの価値「真、善、美、聖、健、富」を意味するモルス信号がデザインのモチーフになっています。



<ルーバーのイメージ図と現物写真>

玉川大学「STREAM Hall 2019」の概要

主構造	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 6 階建て
延べ床面積	12,158.27 m ²